

学習課題（小学校5年生）



【国語】

◆「よりよい学校生活のために（教科書 128～133 ページ）」を読んで、次の問題に取り組みます。

- (1) 128～129 ページを参考にして、①学校生活の中から課題を見つけて議題を考え、2枚目のワークシートやノート、取組シートに書きましょう。学校生活から考えることが難しい場合は、家庭生活の中から課題を見付け、議題にしましょう。
- (2) 130 ページの②議題に関わる現状と問題点を挙げ、解決方法と理由を2枚目のワークシートやノート、取組シートに書きましょう。
- (3) ③の進行計画と④の話し合う活動は、131 ページのQRコードから話し合いの様子を見ることができるので、可能であれば視聴して参考にしましょう。また、家庭生活の中から議題を考えた場合は、おうちの人と話し合ってみましょう。
- (4) 133 ページの「たいせつ」を読んで、学習したことを振り返り、感想をおうちの人に伝えましょう。また、できることがあったら取り組みましょう。

◆「意見が対立したときには（教科書 134～135 ページ）」を学習します。

- (1) 134 ページを読んでから、①に取り組み、ノートや取組シートに書きましょう。
- (2) 135 ページを読んでから、②に取り組みます。あなたなら二人にどんな言葉をかけるか、ノートや取組シートに書きましょう。

◆新出漢字「評」～「統」をノートや取組シートに練習します。
（読み方や筆順などは、教科書 290 ページに載っています。）

＜保護者による関わり方のポイント＞※可能な範囲でお願いします。

- ・「よりよい学校生活のために」では、議題に沿って、立場を明確にし、話し合いをすることが大切になります。学校生活のことが難しい場合は、家庭生活の中から課題を見付けて、議題を決め、よりよい家庭生活のための話し合いを一緒にしてあげてください。また、教科書に掲載されているQRコードや、文部科学省子どもの学び応援コンテンツリンク集に紹介されているNHK for school 『お伝と伝じろう』ピンチ！意見が対立』という番組でも、話し合いの仕方や整理の仕方を学ぶことができます。
- ・「意見が対立したときには」では、状況や自分の思いだけではなく、互いの意見を受け止め、区別しながら、話を前に進めることが大切です。また、話し合いの中の意見が、全てよりよい結論を見付け出すためのものだということを味わわせてあげてください。

よりよい学校生活のために

年 組 名前（ ）

(1) 学校生活（家庭生活）の中から課題を見付け、議題を書きましよう。

--

(2) 議題に関わる現状と問題点を挙げ、解決方法と理由を書きましよう。

現状と問題点	解決方法	理由

(3) 提案したい解決方法は何ですか。

--

(4) 具体的な取り組み（いつ、だれが、どのくらいの期間、何をする）

--